

# 平成23年第3回 高千穂町議会定例会

## 一般質問通告内容集約書

高千穂町議会事務局

【8名11件】

質問日	順	質問者	件数	件名	頁
9月21日(水)	1	工藤博志 議員	1件	1. 農林業の振興策について	1
	2	飯干清喜 議員	2件	1. 上水道運営について 2. 薪ストーブの設置支援について	3
	3	佐藤久生 議員	1件	1. 高千穂町入口に観光案内板の設置について	4
	4	富高友子 議員	1件	1. オートキャンプ場の設置について	5
	5	馬原英治議員	3件	1. 集中豪雨における用水路と排水溝の安全対策は充分なのか。 2. 農産物販売所の組織合同について 3. 葉たばこ廃作における農家への支援対策を伺う。	6
	6	坂本弘明議員	1件	1. 西臼杵3町によるJA高千穂地区への農産物販売及び畜産市場における営業支援について	7
	7	奈須克喜議員	1件	1. 都市計画道路青葉通線について	9
	8	堀川容佑議員	1件	1. 「救急医療情報キット」の取り組みについて	10

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
1	工藤博志 議員	1. 農林業の 振興策について	<p>本町の望ましい将来像と、その実現に取り組むべき様々な施策を推進していくための指針となる第5次総合長期計画が策定されたところであります。各部門ごとに、具体化、また体系化され実施計画されているようであります。</p> <p>中では、農林業の振興策について基本目標は「地域の資源を活かした、活力のあるまちづくり」となっております。農産業、畜産業、林産業はどちらも大自然が相手の、地域の資源を有効活用した営みであり、その目標達成のために、次の点について伺います。</p> <p>1. 農家戸数の減少対策について 新規就農者や農家戸数の増加など現状では厳しい中、現役で頑張っておられる高齢農業者や担い手に対する支援策が農家戸数の減少緩和に繋がると考えますが、支援策を伺います。</p> <p>2. 所得向上のための農産物の推進について 高千穂地区の農業総生産額は43億円余りで、内、畜産関連が50%を占め、次に米、タバコ、園芸作物の順であります。高冷地や冷涼な気候を活かした、中山間特有の農産物を選定し、町のブランド品目として町全体で推進し、所得の向上を図る考えを伺います。</p> <p>3. 集落営農について 中山間直接支払い制度により、耕作放棄地の緩和や農業経営基盤強化に繋がっております。中でも、機械利用組合の設立や共同作業などにより、作業の効率化や経営コストの削減を図っている組織や地域があります。高齢化が進む中、地域ぐるみや組織単位の集落営農が、農家の生き残り策と考えます。 集落営農について、具体的な今後の方策を伺います。</p> <p>4. 農地の有効利用について 農家戸数が減少することにより、農地の荒廃や耕作放棄地が顕著になることが危惧されます。 農業後継者が、農業経営の維持が可能な農地の有効利用と規模拡大のための方策を伺います。</p>	町長

5. 農家の皆さんが10年後に《農業を続けてよかった》と実感できるような農業政策の意気込みを伺います。

以上、5点について伺います。



順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
3	佐藤久生 議員	1. 高千穂町 入口に観光 案内板の設 置について	<p>観光業は、本町にとって農業とともに最も大事な産業の一つであることは、ご承知のとおりです。</p> <p>不況、口蹄疫、そして東日本大震災等の影響で観光客の入り込みが減少しているなか、町をはじめ観光協会、商工会、農協など関係団体が客の誘致に一生懸命努力されているのは十分承知いたしております。</p> <p>その様な中、6月には『阿蘇、くじゅうデザイン会議』が開催され、それに本町も加入が出来たことは、観光客の誘致に広域的に取り組むことが出来、観光の発展につながることは大変うれしいことであります。</p> <p>そこで、次の点について町長に伺います。</p> <p>1. 22年度で高千穂町サイン計画が策定されていますが、その主な内容と計画に基づいた事業の進捗状況は。</p> <p>2. 盆の時期、町内の道路、駐車場は大変混雑した様であります。21年、22年の同時期と比較してどのような状況でしたか。</p> <p>3. この盆の時期に町内で道が良くわからなくなり、警察署や派出所、交通安全協会等にたずねてこられた方々が多数あったとのこと。その方々は、「道路標識は設置してあるがおおまかでわかりにくい。町の入口、たとえば国道218号、325号線沿に観光地全体の案内板を設置してほしい。」と苦情があったとのこと。</p> <p>沿道修景美化条例等法的規制があるのは十分承知していますが、観光客に思いやりのある心づかいの一つとして案内板の設置は出来ないか、また、先に述べた、デザイン会議での広域的な案内板の設置はできないか伺います。</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
4	富高友子 議員	1. オートキャンプ場の設置について	<p>自動車が出掛け、野外での食事やテントでの寝泊まりを楽しむ旅（オートキャンプ）が増えています。</p> <p>本町でも道の駅や武道館内の運動公園や駐車場、テニスコート周辺に於いて宿泊する旅行者をお見かけします。</p> <p>町内には、キャンプ場は2ヶ所、四季見原すこやかなの森キャンプ場と音の谷キャンプ場がありましたが、音の谷キャンプ場は2005年に閉鎖になり、1ヶ所だけとなっています。</p> <p>本町の観光は通過型が多いなか、宿泊客を増やす努力をされています。</p> <p>宿泊を補う意味で、オートキャンプ場の設置のお考えはないのか、町長にお伺いします。</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
5	馬原英治 議員	<p>1. 集中豪雨における用水路と排水溝の安全対策は充分なのか。</p> <p>2. 農産物販売所の組織合同について</p> <p>3. 葉たばこ廃作における農家への支援策を伺う。</p>	<p>今年の6月における集中豪雨は用水路や農道、町道の排水溝への急激な水位上昇に対応出来ない場所があったと聞いている。その現状と対策を問う。</p> <p>町の公共施設内で運営されている道の駅と鬼八の蔵は、経営力強化の上でも、組織合同を行い、町支援を行い、販売力強化を図るべきと思われるが、町長の考えを問う。</p> <p>葉たばこ農家へ10a当たり28万円の廃作奨励金が支給され、来年度は作付面積の減少がある。 来年度の転換作物への技術的、経済的にも多少なりとも、町の支援が必要と思うが、町長の考えを問う。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
6	坂本弘明 議員	1. 西臼杵3町 によるJA高 千穂地区へ の農産物販 売及び畜産 市場におけ る営業費支 援について	<p>3月11日の東日本大震災により発生した原発事故は、日本の農業・食文化に大きな衝撃を与えました。</p> <p>本来、食の安全・安心の基本となるトレイサビリティ（生産履歴）は、原発事故による食肉を含む農産物の放射能汚染からの仕分け的役割を担っています。TPP協定に対する不安や、円高による輸出の減少は日本経済に大きな打撃を与えており、景気低迷は個人消費を下げ、東日本の復興を遅らせる懸念材料となっています。</p> <p>そういった厳しい経済状況の中にあって、宮崎県産やJA高千穂地区が取り扱っている農産物は、汚染された農産物の廃棄処分等により、品薄感から、価格は全体で約5%程上昇しているようですが、生産者の収入は安定しているわけではありません。</p> <p>平成17年から20年まで高千穂町で取り組まれた地域再生マネージャー事業による成果を検証すると、現在も継続的に取り引きされている農産加工品もありますが、物品ロットの数量が大きすぎて対応できない物もあったようです。</p> <p>農家がより多くの収入を得るには、安定的な直接取り引きが出来ることが望ましいわけですが、それができない大多数生産者はJAに依存せざるを得ないわけですが。価格が安定して取り引き出来ることが生産者ニーズであり、食の安心・安全と同様に生産者が安心して農産物を生産できる環境づくりが望まれています。</p> <p>JAの販売担当者に現状を尋ねると、「各消費地で生産者と共に営業活動を行い、高千穂ブランド確立に取り組んでいるが、更なる確立を図るには、継続的な販売促進のための営業が不可欠」とのことです。</p> <p>高千穂は、高千穂峡のイメージが圧倒的に強く、ある観光客の方は、高千穂のイメージを聞かれ、「ボートとそうめんのつゆ」と答えられたそうですが、知名度や認知度から見ても、販売促進活動がしやすい土地柄であり、効率よく多</p>	町長

品目の物産展や流通調査が出来るようにするには、行政の支援が不可欠と考えます。

J Aが独自で営業活動が出来る営業費の支援を3町で事業化して取り組めないか伺います。

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
7	奈須克喜 議員	1. 都市計画道路青葉通線について	<p>三田井中心部を結ぶ道路網は、ほぼ整備されているが、県道諸塚・高千穂線の青葉大橋から町道田口野・松能橋線が都市計画道路として、平成13年度から平成19年度まで工事が施工され、野菜集荷場周辺まで約800メートル歩道付きで整備され、残り約500メートルが残っている。</p> <p>原因は住宅・土地の買収や、道路が狭くて河川敷に橋梁を造る場合の費用問題だと思うわけですが、中学校の通学路であり、自転車通生や歩行生の姿が見られる。</p> <p>安全面においても、歩道がないため雨の日が心配である。</p> <p>神社通りの開通に伴い、松能橋からの大型車の通行は時間規制があり心配ないが、普通車の通行が多い。</p> <p>町としても周辺部の道路整備、高千穂小建設など出費がかさむ時期ではあるが、都市計画道路の今後についての考えは、以上伺います。</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
8	堀川容佑 議員	1. 「救急医療 情報キット」 の取り組み について	<p>「救急医療情報キット」は救急時に必要な情報（持病、かかりつけ病院、常服薬、緊急連絡先など）をひとつにまとめて保管することで、救急隊、病院が迅速に救急救命活動を行えるようにするためのものです。</p> <p>高齢者を対象に医療情報キットの配布事業に取り組んでいる自治体もあります。</p> <p>岡山県浅口市は、65歳以上の一人暮らしの高齢者や75歳以上の高齢者世帯などに対し、救急医療情報キット「いのちのバトン」を希望者に無料で配布しています。</p> <p>円筒状の容器に名前やかかりつけ医、持病、投薬情報などを記した用紙を収納し、冷蔵庫などに保管しています。</p> <p>本町は一人暮らしの高齢者や介護認定者数も増加の傾向にあり、高齢者の安全、安心のためにも「救急医療情報キット」の配布事業は適切に必要な事業ではないかと考えます。</p> <p>町長の御所見を伺います。</p>	町長